

通常議員総会

他機関との連携を深め重層的な支援を推進

6月24日の通常議員総会で令和7年度の事業報告と収支決算が承認されました。
詳細は、舞鶴商工会議所のホームページをご覧ください。

事業報告 — 総括的概要 —

日本経済は、国際情勢の不安定化に伴う原油価格の高騰や円安進行により原材料費が上昇し、多くの産業で経済活動に深刻な影響が生じました。市内事業者も価格転嫁が進まず、人手不足の深刻化と相まって厳しい経営環境が続いた一年になりました。

こうした状況を受け、当所は地域消費拡大を目的にプレミアム商品券の発行や物価高騰対策に関する各種補助制度への対応など、事業者支援を幅広く実施しました。また、事業変革に挑む事業者を支援する「産業

支援プラットフォーム」の枠組みを活用し、多様な事業所に対して伴走型支援を行いました。

さらに、次世代エネルギー都市の実現や日本海側唯一の海洋産業都市の構築に向けた取り組みを推進し、海上自衛隊と海上保安庁の二つの地方管区組織が所在する国内唯一のまちとしての特性の発信にも力を注ぎました。加えて、ちゃった花火大会など地域のにぎわい創出に資する事業にも取り組みました。

主な事業内容（抜粋）

1. 意見要望活動

防衛省発注工事における地元建設業者の受注機会の確保と本市における海上自衛隊の体制維持、防衛産業の基盤強化を市長・市会議長・会頭の3者連名で国に要望した（写真①）。また、10部会の意見要望を取りまとめ、人手不足対策と物価高騰対策に関する支援などを知事と市長に要望した。京都府知事との懇談会



では、港湾整備など京都舞鶴港の振興と電源地域の特性を生かした企業誘致、国防に資する造船業の振興への支援を要望した。

2. 地域活性化に関する事業

「ちゃった花火大会」の主催や「京都舞鶴ベイサイドフェスタ」などの地域のイベントを支援した。海上保安庁との連携による「まいづる海保カレー」の提供を市内店舗で開始するとともに、「海自・海保」のあいかけカレーの提供も行った。また、北陸新幹線誘致促進協議会の発起人として同協議会の設立に関与し（写真②）、誘致の機運醸成に努めた。



3. 工業振興に関する事業

舞鶴工業集積協議会を通じて、新商品の研究開発と販路開拓を積極的に支援した。特に、「京都ビジネス交流フェア」では製品の展示と市内事業者の技術力の発信をおこなった。

4. 商業振興に関する事業

物価高騰の影響を受けた生活者を支援するとともに、地域経済の消費を下支えするため、舞鶴市からの受託で商品券を発行し地域経済の活性化に大きく寄与した（写真③）。また、観光入込客が増加する中、個店の集客と売上増加につなげるためにSNSやデジタルを活用する広報セミナーを実施した。

